

## おおぞら病院 看護師ラダー評価基準

②

～看護協会・レジリエンスメディカル資料より～

|           |         | レベルⅠ(新人)  | レベルⅡ(一人前)   | レベルⅢ(中堅)  | レベルⅣ(達人)   |
|-----------|---------|---|---|---|--|
| 組織的役割遂行能力 | 管理      | 各病棟および他部署の役割を理解できる<br>各病棟および他部署の業務内容を理解できる<br>医療安全や感染についての自己の役割を理解して指導を受け行動できる  | 組織の一員としての役割を理解できる<br>自立して患者受け持ちができる<br>部署内で良好な人間関係を構築できる<br>新人に関心を持って、話を聞くことができる                        | 所属部署において専門的な能力を発揮し、指導的な役割を担うことができる<br>経済的な視点で物品や薬品、SPDシステムの運用や指導ができる<br>環境、物品、薬品の管理・運用ができる            | 経済効果を考慮した物品、薬品、環境の管理ができる<br>各病棟他部署との連携を調整し、円滑な連携を推進することができる<br>医療安全や感染対策の防止策を検討し、実践、指導ができる |
|           | 倫理      | 「看護師の倫理綱領」の内容が理解できている   | 倫理要綱を理解して行動できる<br>日常業務の中で自分の倫理的問題に気づくことができる<br>自分の倫理的問題を改善できる   | 倫理要綱を理解し行動でき、他者に指導できる<br>自立して患者を擁護し、代弁者として行動を起こすことができる  | 倫理面において役割モデルとなれる<br>倫理要綱を理解して行動でき、指導することができる   |
|           | 社会性     | 患者・同僚・上司の考えや意見をよく聞き、尊重できる<br>部署の人と人間関係を築くためのコミュニケーションができる<br>自分の意見を他者に伝えることができる   | 自分自身の感情、思考、行動の傾向を知ることができる<br>チーム内で円滑なコミュニケーションがとれる<br>関連する他部門、他職種の役割が理解できる<br>関連する他部門、他職種と連携できる         | チームリーダーの役割が担える<br>チームリーダーとしての行動や接遇のモデルとなれる<br>患者や患者家族、上司や同僚と良好な人間関係を構築できる<br>他職種との信頼関係を構築でき、円満な連携をとれる | 看護部内を超えて円滑で良好なコミュニケーションをとれる<br>チームリーダーの支援ができる<br>行動や接遇のモデルとなり、指導もできる                       |
|           | 安全・危機管理 | 医療事故防止マニュアルに沿って実践できる<br>インシデントレポートを正しく報告できる<br>安全上の異変を報告・相談できる<br>防災設備の取り扱いができる<br>災害発生時、指示に従って行動できる<br>緊急事態を察知、判断ができて、応援を求めることができる | 医療事故防止マニュアルに基づいて安全な行為を常に実践できる<br>インシデントの情報を他者と共有できる<br>緊急事態の判断ができて、迅速に適切な対応ができる<br>災害発生時、マニュアルに沿って行動できる | 緊急事態に対応・指導ができる<br>危険や危機を察知して、防止策を事前に実施することができる<br>災害発生時にはマニュアルに沿って行動でき、他者への指導ができる                     | 予測できる問題や危険に対して防止策を検討し、実施できる<br>事象事例の原因を分析でき、対策を実施できる<br>災害発生時においてリーダーシップがとれる               |
|           | 感染      | 「感染予防対策マニュアル」の感染対策を確認できる<br>標準予防策が実践できる<br>無菌操作が実施できる<br>針刺し防止のための対策が実施できる  | 患者の状況や周囲の感染リスクに対応した感染対策が実施できる<br>標準予防策や感染経路別の予防策など感染対策の基本を新人に指導できる                                      | 患者の状況に合わせた感染対策が実施でき、他者にも指導できる<br>所属部署内における感染対策上の問題点を抽出できる   | 感染発生状況や感染対策の実態を正確に把握でき、改善するための対策がとれる<br>所属部署における感染対策をマニュアル化できる                             |
| 自己教育研究能力  | 教育      | 自己の看護観を表現できる<br>院内の教育プログラムに参加することができる<br>学習したことを報告できる<br>積極的な自己学習の必要性を理解できる   | 自己の学習課題の達成に向けて積極的な活動を行うことができる<br>院内教育プログラムに参加できる<br>実施指導者としての役割がとれる                                     | 自己の教育活動に積極的で主体的な実践ができる<br>教育活動において指導的な役割を担える<br>専門的な知識を活かして、後輩の教育と指導ができる                              | 単独で専門領域や質の高い看護について教育活動を実施できる<br>組織的な教育活動を実践し、指導できる<br>相手のレベルに応じた個別性のある教育活動を実践、指導できる        |
|           | 研究      | 事例発表に意欲をもつことができる  | 事例発表(ケーススタディ)に取り組み発表できる   | 看護研究に興味をもつことができる  | 専門領域の看護研究に参加できる  |